

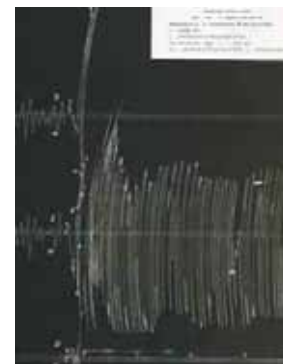
## 昇太郎ニュース: Vol.008

「テクトランスファーin かわさき」は、大変盛況でした。予想外の来場者が弊社ブースへお立ち寄りいただきました。詳細は下記の通りです。多くの方に興味を持っていただき、今後も展示会の出展は続けていきたいと考えております。来月は静岡県地震防災センターのイベントに参加します。

### 防災機器展示会出展



- 「テクトランスファーin かわさき」環境・福祉・防災機器
  - 日時:2009年7月8日～10日
  - 場所:かながわサイエンスパーク (KSP)
  - 来場者:弊社ブース 68名 /全体 9,186名
  - 展示品:
    - ◇ エレベーター救命ボックス:昇太郎
    - ◇ イメージレコーダー:SVI-03、SVM-01
  - 資料のみ:
    - ◇ ソーラー監視カメラ
    - ◇ 画像処理 ASIC 用 IP:WDR、歪曲補正



### 地図にみる関東大震災：第4章 震災の記録を後世へ

関東大震災に関しては、発生直後か官学民にわたり様々な立場から膨大な調査資料が残されてきました。それらに共通する意識は、二度とこの様な災害を繰り返さないようにするために、後世に真実を伝え教訓として生かしたいというものです。

下図は日本橋、神田の火災動態図です。図の赤丸は延焼火災の火元、矢印は延焼方向、緑の線は延焼等時線です。隅田川の東だけで火災旋風だけで4万4千名の死者をだしました。また、白地の部分は延焼地域の中で奇跡的に焼け残った地域です。



地震に強い町を作るためには「地盤」を知ることが重要であることを多くの人は痛感したことでしょう。東京、横浜では低地を中心として約800箇所地盤調査ボーリングを実施しました。この調査によって、この地域の地盤が新しい地質時代に海の底で堆積した、柔らかくて固まっていない地層であることが確認されました。この調査が明らかにした事実は、地震の揺れと地盤を構成する地層の性質が密接に関係すること、この事実は後の地震工学誕生の契機となる大変重要な発見でした。

以上